

「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関する
パブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

件名	「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」について
公募期間	2019年（令和元年）12月10日（火）から 2020年（令和2年）1月17日（金）まで
配布資料等	「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」
資料の 閲覧場所	子育て企画課，市役所総合案内，市政情報コーナー 各市民センター・公民館，市ホームページ
周知方法	広報ふじさわ12月10日号，市ホームページ
意見等を 提出できる方	市内在住・在勤・在学の方，市内に事業所などを有する方 その他利害関係者
意見公募方法	所定の意見提出書または任意の用紙に，氏名・住所・意見等の必要事項を 記入し，郵送，ファックス，持参，市ホームページ用の専用提出フォーム （電子申請）の方法で子育て企画課に提出

2. 実施結果

計画の素案に対して，3人から22件の意見をいただきました。

なお，計画案に具体的に反映した意見は1件で，その他の意見については，今後の子ども・子育て支援策の参考とします。

(1) 意見の内訳

項 目	件 数
ア 子どもの育ちに関すること	6
イ 保育園に関すること	4
ウ 小学生の遊び場・居場所に関すること	7
エ その他	5
合 計	22

(2) 意見提出方法の内訳

方 法	人 数	件 数
ファックス	1	7
持参	1	14
市ホームページ	1	1
合 計	3	22

「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関するパブリックコメント一覧

ア 子どもの育ちに関すること 6件

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
1	動物として人間として，身も心も元気に丈夫に育ち生きていけるように，乳幼児期を過ごすべき。	ご意見として参考にさせていただきます。
2	免疫力のつく乳児期における親子のふれあいでは，アロマやオイルマッサージではなく，わらべうた遊びなどをするとよいと思う。	ご意見として参考にさせていただきます。
3	乳幼児期は，泥んこになって遊べる環境を提供し，考える力を育ててください。	ご意見として参考にさせていただきます。
4	トイレは，自動洗浄ではないほうが子どもの育ちには大切だと思います。	ご意見として参考にさせていただきます。
5	化学薬品の香料や洗剤は，子どもの発達や発育に影響すると思います。	ご意見として参考にさせていただきます。
6	プラスチック製の玩具ではなく，自然のもので作られた玩具（紙・布・木）で遊ばせてください。子どもの感性を育ててください。	ご意見として参考にさせていただきます。

イ 保育園に関すること 4件

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
1	園庭のある保育園を建てるべき。	保育所を利用する保護者の利便性を考慮すると，園庭（屋外遊戯場）の確保が難しい場合もあるため，近くに代替えとなる公園があることを条件に付した上で，引き続き認可保育所等設置の公募を行ってまいります。
2	保育園では安全な食材を使用した給食を提供すべき。特に，果物が食卓に出てこない家庭があると聞く。	市内で生産される食材を積極的に取り入れながら，引き続き，安全な給食提供を行ってまいります。
3	善行保育園の建て替え場所は，徒歩で送迎する保護者もいるため考慮してほしい。また，子育てひろばや高齢者の集う場などと複合化するとよい。	善行保育園・善行乳児保育園については，平成28年3月に策定した「善行市民センター等再整備基本構想」において，善行市民センターの近接地へ移転し，つどいの広場を複合化した施設として再整備する計画としております。

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
4	辻堂保育園は保育者の使いやすい間取りになっていますか。	辻堂保育園の再整備にあたりましては、現場職員の意見をもとに設計をしております。

ウ 小学生の遊び場・居場所に関すること 7件

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
1	同じ小学校に通う子どもたちが分け隔てなく集い、関わり、遊び、過ごせることをめざし、放課後児童クラブが放課後子ども教室に遊びに行かれるように相互に連携や情報共有をし、地域の子どもたち全体の遊び場・居場所環境について考える仕組づくりが必要である。 放課後子ども教室の利用率の高さは、その地域の遊び場・居場所不足を表しているともいえる。新たに遊び場・居場所に特化した拠点となる施設を創設する必要性が高いと感じる。	ご意見いただきました放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携する方式は、新・放課後子ども総合プランにおいて国も推奨しております。藤沢市の小学校の余裕教室の現状では、放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型・連携型の整備について、具体的な目標値を設定することは困難ですが、今後も検討課題であると捉えております。 地域のニーズ、小学校区ごとの居場所の整備状況を勘案しながら、今後の遊び場・居場所の整備について計画の策定・検討を進めてまいります。
2	学校施設や公共施設を活用する形で放課後児童クラブを整備し、子どもたちのありのままを補償できるようにしていきたい。また、子どもたちが遊び場同士を回遊できるようトレイルの整備を願う。	今後も、利用可能なものについては、学校施設や公共施設を活用し、放課後児童クラブ整備を行ってまいります。 また、複合施設等の整備においては、子どもたちが複数の居場所を安全に行き来できるよう、ご意見を参考とさせていただきます。
3	放課後児童クラブの機能と共に、子育て支援拠点、冒険遊び場、子ども食堂、学習支援、地域の縁側、市民活動団体の活用といった総合的な切れ目のない支援を可能とするレイッキピストの実現を願う。	レイッキピストはプレイパークの一種で、様々な遊びや体験学習などを通じて子育て支援に資するものであると捉えております。いただいたご意見を参考にさせていただきます。
4	子どもの遊び場・居場所としても、高齢者の健康増進の場としても、地域住民の避難場所としてもトイレのある公園を緊急に希望する。	過去にトイレの設置されていた公園で、事件等があったため、トイレを撤去した事例がございます。このことから周辺にお住まいの方々のご理解が不可欠であると考えております。 街区公園へのトイレの設置につきましては、防犯上の面や維持管理等（トイレ清掃、開閉作業等）の点からも、基本的に考えておりません。
5	子どもたちが自由に大きな声を出しても文句を言われたい、また小学生の発達段階、遊びの広がりに対応できる安全な遊び場や居場所がない。遊び場用地として公園課を中心に計画的に先手を打って確保していただきたい。	都市計画公園の整備は完了しており、新規の公園整備は困難な状況ですが、公園を補完するものとして緑の広場の設置を進めておりますので、緑の広場としての用地提供が地元よりあれば、位置や規模等を考慮し、対応したいと考えております。今後も関係各課と連携し、子どもたちの遊び場や居場所づくりを進めてまいります。

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
6	都市公園法が改正されて公園内に保育園や放課後児童クラブを併設する事例が進んでいる。都市公園法の柔軟な対応に合わせた子どもの遊び場づくり・居場所づくりを進めていただきたい。自治会館等と放課後児童クラブを複合施設にすることはできないか。	都市公園内への保育所や放課後児童クラブの設置については、その場所での必要性等を検討した上で、遊具等の利用に支障がないなど、個々の公園の特性や公園利用者への影響等を考慮して検討することとなります。自治会館につきましても同様に、施設の特性、利用者への影響を考慮した上で検討することとなります。
7	小学生の発達段階や遊びの広がり理解を示し、そうした行為を受け止められる遊び場や居場所が市内全域で求められている。	いただいたご意見を参考にさせていただくとともに、今後も関係各課と連携し、子どもたちの遊び場や居場所づくりを進めてまいります。

エ その他 5件

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
1	マイクロプラスチック対策のため、調理の際に使用するタワシ類や化学繊維の服について考慮すべき。	ご意見として参考にさせていただきます。
2	病児保育を推進するのもよいが、子どもが病気のときくらい保護者が休みを取れる社会になるとよい。	ご意見として参考にさせていただきます。
3	保護者に寄り添うだけではなく、保護者に人間の育ちを伝えてほしい。	ご意見として参考にさせていただきます。
4	木をたくさん植えてほしい。	ご意見として参考にさせていただきます。
5	子育て世代への支援と並行して、将来の子育て世代への支援にも焦点を当てる必要があるのではないかと考えた。近い将来の次代の親である若者たちが子育てを疑似的に体験し幼児と触れ合う機会を増やすことも大切ではないか。 そのために子育てイベントへの参加だけではなく、大学生などが手伝いや企画運営・実施を主体的に行いたい。 子どもを欲しいという気持ちが生まれなければ、どんなに支援制度が充実していても子どもを産むという選択にはならず、まずは若者が子どもを産むということ、育てるということについて自分の意見や当事者意識を持つことが出生率改善への第一歩ではないか。	今後、施策を推進する際の参考にさせていただきます。 本意見を踏まえ、基本目標3のリード文を修正しました。 【修正前】 「次代の親」の育成の観点からは、～今後は広く若者に対象を広げながら様々な啓発や体験の機会を提供します。 【修正後】 「次代の親」の育成の観点からは、～今後は広く若者にも対象を広げ、子ども・子育て支援事業を連携して実施することなどにより、様々な啓発や体験の機会を提供します。